

令和 7 年 3 月 14 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名・・・医療法人 仁風会 雲陽の里

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所

会議開催日・・・令和 7 年 3 月 11 日

開催場所・・・雲陽の里

出席者

事業所	1 人	利用者	人
利用者家族		地域代表者	3 人
松江市職員		包括支援センター	1 人
知見を有する者		その他 ()	人

活動状況報告

1) 入所状況について

- ・現在入所者 8 名、1 月に 1 名入所、2 月に 1 名退所。
- ・90 代男性、変更申請により要介護 1→4 になった。

2) 生活状況・活動報告

◎2/28 法人内研修「医療用酸素について」職員参加

◎3/18～21 法人内研修「行動制限最小化研修②」全員参加予定

3) ・インシデント及び事故報告（7 件）内容と対策について報告。

意見交換

地) 介護度が大きく変わった方がいたようだが？

職) 入所前に転倒骨折があり車椅子になった方だった、要介護 1 で変更申請をしないまま入所されたので状態を把握するためにしばらく様子を見てから変更申請を行い介護度が変わっている。

職) 入所間もない方のご家族さまより 2 件ご意見を頂いている。

- ・周りの入居者さまの様子に戸惑い、施設を替わりたいとご家族に携帯電話で話された件については、ご家族にも施設に話す事にためらいがあったようだがご意見を頂けた事にお礼を言って認知症により周囲に配慮するといった事が難しくなった方による内容であり職員把握して対応しており、今後も様子を見て介入する事で了解された。
- ・洗濯洗剤の消費が早いとのご指摘については、お預かりしたボトルを並べて順番に使用しているが、たまたま使用する順番の位置だったために入所早々に洗剤を使い切る事になってしまった。順番を飛ばす等の配慮が欠けており補充の依頼の際にもその説明が無かったことから不信感につながってしまった。説明と配慮に欠けていた事へのお詫びで了解された。

地) たまたまタイミングも悪かったという事か。

職) また、ご家族さまが定期診察に同席された際に、ストレスが強くなっており不眠と飲水要求が続き対応に苦慮している事を報告し主治医より入院を勧められると、「施設での制限がストレスの原因になったのではないか」とご意見があった。今回は降雪がきっかけで雪への執着から外へ出る回数が増えたが靴を履き替えるように促しただけで出る事への制限はしていない事。雪が消えてしまうと飲水要求が強くなり、水中毒で救急搬送された経歴から1日の上限を超えるような飲水に関しては健康面への配慮から制限をした事を説明している。

ご家族で相談していただくために県外の息子さんに連絡して施設で対応に苦慮している様子を報告すると「夜は部屋に鍵をかけていないのか、そんなに自由にさせてもらっているのか」と驚かれた事に施設側として驚いた。このご家族の認識は一般的なものだろうか。

包) 今回の認識には大分ずれがあると思うが、施設に預けておけば出る事もないだろうと考える家族が無いわけではないという事だと思う。行動制限や身体拘束については非常に厳しく指導されていて以前あったミトンの検討でも可能性だけで制限するべきではないという結論になったと思う。ただ現場としては大変な事があるという事も現実としてはあると思う。

地) 家族が入院した時によくセンサー使用の承諾書を書いていた。

包) 今は承諾書だけではだめで検討会議も開催されているようだ。

職) 怪我を防ぎたいという思いはあるがそれだけで理由にはならない現状である事も理解はしている。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価をうけることができたか	
☐ 要望・助言等を受ける機会を設けたか	